

プレス・リリース

ラッセル・インベストメント・グループ

発信日： 2006年1月6日

『Russell/Nomura 日本株インデックス』 2005年パフォーマンス概況 6年振り、暦年リターンでグロースがバリュートを上回る

ITバブル期の1999年以降、長らくバリュート株式がグロース株式を上回る環境が続いていましたが、2005年は6年振りにグロース株式のパフォーマンスがバリュート株式のそれを上回る年となりました。

『Russell/Nomura 日本株インデックス』の2005年暦年のリターンは、国内株式市場全体を表すRN総合で46.4%と、ここ10年ではITバブル期の1999年に次ぐ2番目の高リターンを記録。この中、RN総合グロースが47.2%、RN総合バリュートが45.2%と、1999年以来久方振りにグロース株式がバリュート株式を上回りました。この結果をもたらしたのは、第4四半期、中でも11月と12月のパフォーマンスです(注)。6年にわたって続いたバリュート株式優位の相場に転換点が訪れたのかもしれません。

(注)	RN 総合グロース	RN 総合バリュート
2005年10月	1.26%	3.05%
2005年11月	8.51%	4.98%
2005年12月	9.83%	5.24%

小型株式と大型株式との比較では、2005年暦年のRN小型が57.7%、RN大型が44.5%と、こちらはITバブル期以降、未だに小型株式のパフォーマンスが大型株式のそれを上回り続けています。

ちなみにパッシブ運用のベンチマーク向けに提供されているRNプライムの2005年のリターンは45.9%、東証発表のTOPIXのリターンは45.2%でした。

図1 スタイル別リターンの推移

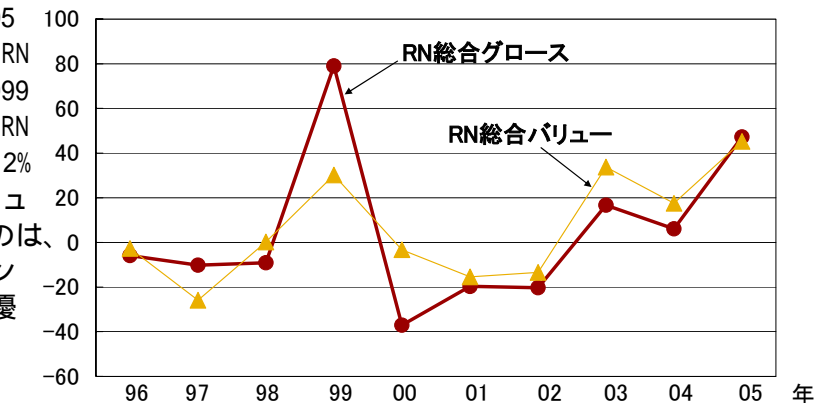


図2 規模別リターンの推移

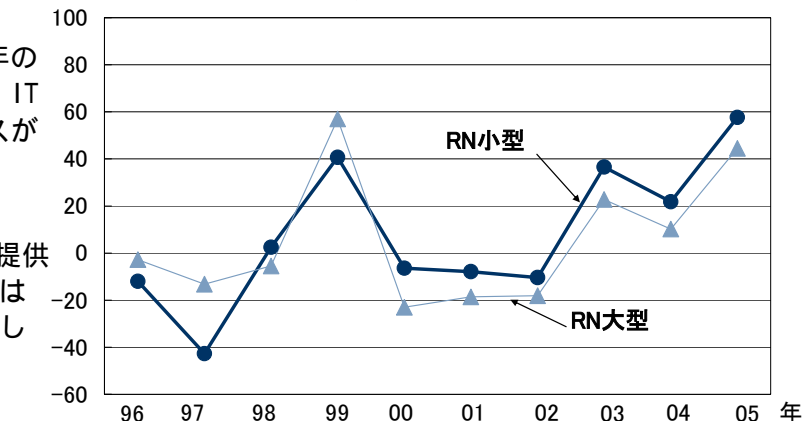


表1 インデックス別過去10年における年次リターン

	96年	97年	98年	99年	00年	01年	02年	03年	04年	05年
RN 総合	-4.3	-17.7	-4.7	55.3	-21.6	-17.6	-17.0	25.0	11.9	46.4
RN 総合グロース	-5.9	-10.2	-9.1	79.0	-37.1	-19.7	-20.3	16.7	6.1	47.2
RN 総合バリュート	-2.7	-25.9	0.2	30.2	-3.3	-15.4	-13.4	33.7	17.5	45.2
RN 小型	-12.0	-42.7	2.5	40.7	-6.4	-7.9	-10.4	36.6	21.8	57.7
RN 大型	-2.8	-13.2	-5.5	57.0	-23.0	-18.6	-18.1	22.8	10.2	44.5
RN プライム	—	-16.0	-4.8	55.8	-21.9	-18.0	-17.1	24.5	11.5	45.9
TOPIX(配当込)	-6.1	-19.4	-6.6	59.7	-25.0	-18.9	-17.5	25.2	11.3	45.2

(単位: %)

Russell/Nomura 日本株インデックスについて

「Russell/Nomura 日本株インデックス」は、1995年にラッセル・インベストメント・グループと野村證券によって開発された株式市場インデックスです。東証2部、大証、名証、東証マザーズ、大証ヘラクレスなどの全上場銘柄およびJASDAQ銘柄を含む全市場を広く網羅しており、浮動株修正時価総額で約98%を代表する「Russell/Nomura Total Market インデックス」を中心に、大型/小型といった規模別や、グロース/バリューの投資スタイル別に20種類のサブインデックスが含まれます。インデックスの構成銘柄は、各銘柄の浮動株修正時価総額による公平かつ完全なランキングに基づいて決定されており、年一回12月第一営業日に構成銘柄の定期入れ替えが実施されます。

ラッセル・インベストメント・グループについて

ラッセル・インベストメント・グループは、「マルチ・マネージャー運用のグローバル・リーダー」として今日世界39カ国で総合的な資産運用管理サービスを提供しています。ラッセルが提供するサービスは、グローバルな運用会社調査をベースに、資産運用コンサルティング、資産運用サービス、証券売買執行管理サービス、オルタナティブ投資サービス、Russell 1000[®]、Russell 2000[®]、Russell 3000[®]、Russell/Nomura 日本株インデックス等のインデックスの開発など多岐にわたります。ラッセル・インベストメント・グループの創立は1936年。現在当グループが提供する資産運用コンサルティング・サービスの対象資産総額は約255兆円、またマルチ・マネージャー運用の資産総額は約16兆円となっています。なお、1999年よりノースウェスタン・ミューチュアルが当グループの親会社となっています。

日本においては1986年に東京オフィスを開設。翌1987年にはフランク・ラッセル・ジャパン株式会社を設立し資産運用コンサルティング・サービスを提供してまいりました。また1999年には、フランク・ラッセル投信株式会社を設立し、投資信託委託業務を開始、さらに2000年には投資一任契約に係る業務の認可を受け、個人および機関投資家向けにマルチ・マネージャー運用商品を提供しています。2002年7月には両社は「フランク・ラッセル株式会社」として事業統合を行いました。その後、持株会社であるフランク・ラッセル・ジャパン株式会社の下、2004年5月に新たに「ラッセル・インベストメント証券株式会社」を設立し、同年10月より営業を開始、現在3社体制で事業を展開しています。

詳しくは、www.russell.comをご覧ください。

(2004年9月末現在 2005年9月末現在、グループ合算)

お問い合わせ先： ラッセル・インベストメント・グループ
 フランク・ラッセル・ジャパン株式会社
 企画・広報部門 田中裕子
 電話：03-5411-3693

ラッセル・インベストメント・グループは世界中の拠点を通じて事業を展開しています。

「ラッセル・インベストメント・グループ」および「ラッセル」は、フランク・ラッセル・カンパニー及びその子会社等の総称です。